

ハンディプロアによる受粉に適するトマトの品種

福島県農業総合センター 作物園芸部

1 部門名

野菜 - トマト - その他

2 担当者

齋藤裕史・佐藤睦人

3 要旨

ホルモン処理によるトマトの受粉作業は、労力がかかる作業である。そこで、受粉作業の省力化をめざしハンディプロアの送風による受粉技術(以下、「プロア受粉」という)を開発している。ここでは、プロア受粉の普及を図るために、ホルモン処理と同等の収量が得られる品種を選定した。

- (1) プロア受粉でホルモン処理と同等の収量が得られる品種は、夏秋作では「桃太郎8」、冬春作では「ごほうび」であった(図1、2)。
- (2) プロア受粉は開花花房の約1m先から週2回行った(図3、4)。

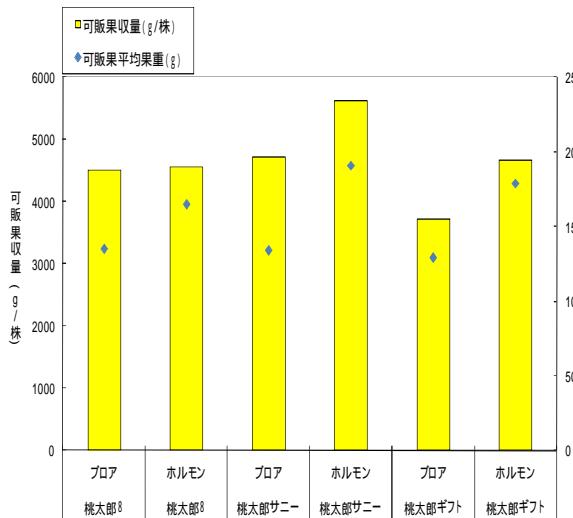


図1 夏秋作品種の受粉別収量及び果重

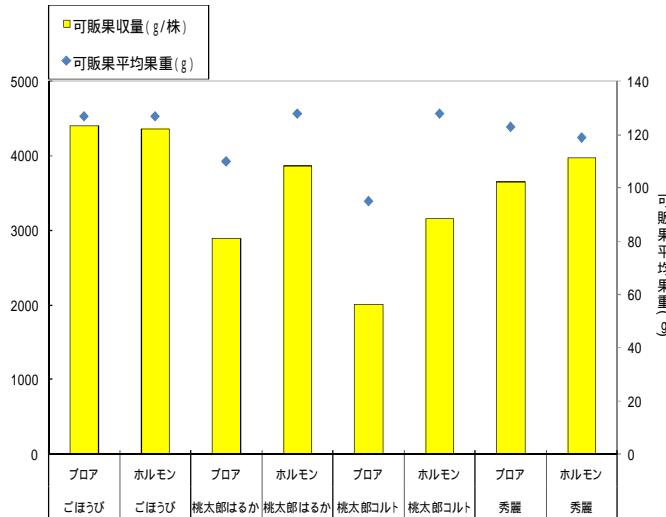


図2 冬春作品種の受粉方法別収量及び果重



図3 プロア受粉作業



図4 プロア受粉で使用したハンディプロア

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成20、21年度試験成績概要